

平成29年度 行政評価表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	19人	電話番号 (内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり
	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>

所管する施策の 方向一覧	Ⅲ-5-31-(1)ごみの減量・資源化の推進
	Ⅲ-5-31-(2)ごみの適正処理
	Ⅲ-5-31-(3)環境衛生の向上

年度	H28	H29	H30	H31	H32
予算額 (千円)	719,937	690,629			
決算額 (千円)	710,582	683,526			
決算額の内 繰越明許分	-	-			

※人件費、一般諸経費、交際費、積立金、繰出金、出資金及び公債費は含まれておりません。

※予算費目表に再掲で表示されている事業は、再掲元の予算費目及び総括表に予算額及び決算額を記載しています。

※赤字:補正・流用により当初予算額から変更した予算額

※繰越明許:年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、議会の議決を得て翌年度に繰越して使用するもの。
予算要求年度に予算額を、実執行年度に決算額及び繰越明許額を記載。

成果指標 【行政改革大綱における取 組事項名】	指標計算式(指標の説明)	年度	H28	H29	H30	H31	H32
1人当たり1日のごみ排出量	市民1人が1日に出すごみの 排出量	目標	943g	943g	943g	943g以下	943g以下
		実績	947g	923g			
		進捗状況	遅れ	順調			
ごみのリサイクル率	ごみの排出量のうち、リサイ クルされた資源ごみの割合	目標	25%	25%	25%	25%	25%
		実績	13.7%	13.9%			
		進捗状況	遅れ	遅れ			
各推進員の活動回数 【10(仮称)3R活動推進員 の養成及び活動支援】	推進員単独での活動と市と の協働での活動の合計	目標	推進員依頼者数25人	6回以上	6回以上	6回以上	6回以上
		実績	20人	13回			
		進捗状況	遅れ	順調			
直営による収集運搬業務数 【49 一般廃棄物収集運搬 等業務の全面委託化】	平成33年度に全ての一般廃 棄物収集運搬等業務を委託 化	目標	—	—	—	業務数1減	業務数2減
		実績					
		進捗状況					

ごみ処理広域化に係る調査研究 【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】	調査研究した回数	目標	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上
		実績	1回	1回			
		進捗状況	順調	順調			
制度見直し検討回数 【57 少量排出事業者にかかる制度見直し】	三島市廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら検討を行った回数	目標	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上
		実績	3回	制度改正			
		進捗状況	順調	順調			
ごみ袋への処理手数料の上乗せ検討回数 【58 ごみ処理の有料化】	三島市廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら検討を行った回数	目標	生活系自己搬入ごみ有料化	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上
		実績	H28.4.1から施行	0回			
		進捗状況	順調	遅れ			

施策の方向	Ⅲ-5-31-(1)ごみの減量・資源化の推進
-------	------------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	<ul style="list-style-type: none"> ・生活系自己搬入ごみ有料化や事業系一般廃棄物処理手数料改定に伴うごみ減量効果を分析するとともに、ごみ減量及び分別等に関する市民意識調査、ごみ組成分析調査を行い、平成30年度に策定する次期一般廃棄物処理基本計画の基礎資料とする。 ・更なるごみの減量や資源化を推進するため、引き続き出前講座の開催やごみ減量トレンドイ等広報誌の発行を行う。 ・「だっくす食ん太くんNEO」の普及拡大のため、引き続き広報誌での周知や販売説明会を開催するとともに、生ごみ処理容器の無償貸与事業を実施する。 ・ごみ減量アドバイザーの活動を支援するとともに、市とアドバイザーの協働でごみの減量や資源化に係る事業を実施する。 ・廃棄物処理対策審議会からの答申内容に基づき、集積所からの資源古紙等の持ち去り禁止に係る条例改正を行い対策を強化する。 ・リサイクル率の向上を図るため、分別品目拡大について調査研究を行う。 ・リユース活動を推進するため、引き続きフリーマーケット事業を委託により行う。 ・駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加するとともに、広域処理の可能性のある市町に対し個別に情報収集を行い、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	<p>【10 (仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】 ごみ減量アドバイザーの活動を支援するとともに、市とアドバイザーの協働でごみの減量や資源化に係る事業を実施する。</p> <p>【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】 駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加するとともに、広域処理の可能性のある市町に対し個別に情報収集を行い、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。</p> <p>【58 ごみ処理の有料化】 生活系ごみ袋への処理手数料の上乗せについて、廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら検討を行う。</p>

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活系自己搬入ごみ有料化や事業系一般廃棄物処理手数料改定に伴うごみ減量効果の分析 ・ごみ減量及び分別等に関する市民意識調査、ごみ組成分析調査の実施 ・出前講座の開催及びごみ減量トレンドイ等広報誌の発行 ・「だっくす食ん太くんNEO」の広報誌での周知及び販売説明会の実施 ・生ごみ処理容器無償貸与事業の実施 ・ごみ減量アドバイザーの活動支援、市とアドバイザーの協働によるごみの減量や資源化に係る事業の実施 ・集積所からの資源古紙等の持ち去り禁止に係る条例改正及び監視体制の強化 ・新たな分別品目拡大についての調査研究 ・委託によるフリーマーケット事業の実施 ・駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会への参加及び広域処理の可能性のある市町に対する個別の情報収集 ・近隣市町とのごみ処理広域化の方向性についての調査研究
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	<p>【10 (仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】 ごみ減量アドバイザーの活動支援、市とアドバイザーの協働によるごみの減量や資源化に係る事業の実施</p> <p>【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】 駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会への参加、広域処理の可能性のある市町に対する個別の情報収集、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究</p> <p>【58 ごみ処理の有料化】 持ち込みごみ有料化によるごみ削減効果やごみ処理経費の推移及び他市町の状況等の検証、生活系ごみ袋への処理手数料上乗せについての検討</p>

3 実施内容に対する評価(Check)

<p>実施(改善)計画に対する今年度の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活系自己搬入ごみ有料化や事業系一般廃棄物処理手数料改定等に伴う大幅なごみ減量効果を達成できた。また、平成30年度に策定する次期一般廃棄物処理基本計画の基礎資料となる「ごみ減量及び分別等に関する市民意識調査」及び「ごみ組成分析調査」を実施した。 出前講座を年28回開催し、また、ごみ減量トレンドィを年4回発行し、更なるごみの減量や資源化の推進に向け啓発を行った。 生ごみの減量に向け、「だっくす食ん太くんNEO」の販売や生ごみ処理容器の無償貸与事業を実施するとともに、小学4年生が清掃センターの施設見学に来た際に食品ロス削減講座を実施した。 市とごみ減量アドバイザーとの協働で、ごみの減量や資源化の推進に向け、集積所でのミックス古紙分別啓発活動やもったいない食器市等の事業を実施した。(その他、先進地視察研修や事業実施に向けた会議を年8回開催) 資源古紙等の資源物だけでなく、一般廃棄物全てについて集積所から持ち去ることを禁止する条例改正を行い、持ち去り防止対策の強化を図った。(平成30年1月1日条例施行) 衣類の再資源化を推進するため、佐野見晴台に衣類回収ボックスを新たに設置した。 リユース活動を推進するため、フリーマーケット事業を委託により年8回実施した。(2回は雨天中止) 駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会において、駿豆地区8市4町における新規施設の検討状況や広域処理への考え方について意見交換を行い情報共有することができた。ただし、広域処理の可能性のある近隣市町に対する個別の情報収集は実施できなかった。
<p>【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価</p>	<p>【10 (仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】市とごみ減量アドバイザーとの協働で、ごみの減量や資源化の推進に向け、集積所でのミックス古紙分別啓発活動やもったいない食器市等の事業を実施した。(その他、先進地視察研修や事業実施に向けた会議を年8回開催)</p> <p>【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会において、駿豆地区8市4町における新規施設の検討状況や広域処理への考え方について意見交換を行い情報共有することができた。ただし、広域処理の可能性のある近隣市町に対する個別の情報収集は実施できなかった。</p> <p>【58 ごみ処理の有料化】持ち込みごみ有料化等による大幅なごみ削減により、1人1日当たりのごみ排出量は現行の一般廃棄物処理基本計画の目標を達成できた。また、ごみ処理経費については、焼却処理施設の基幹的設備整備工事後、電気代等の大幅な削減が達成できている。さらに、平成30年度に新たな少量排出事業者制度が施行となり、更なるごみ減量効果やごみ処理費用の負担の公平化が期待できる。このような状況の中、生活系ごみ袋への手数料の上乗せについては、次期一般廃棄物処理基本計画策定時に改めて検討する必要があると考え、平成29年度は検討を行わなかった。</p>

4 評価結果に対する改善内容(Action)

<p>次年度の事業のあり方(改善措置)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ごみ減量及び分別等に関する市民意識調査」及び「ごみ組成分析調査」の結果を基礎資料とし、廃棄物処理対策審議会の意見を伺う中で、平成31年度以降を計画期間とする次期一般廃棄物処理基本計画を策定する。 更なるごみの減量や資源化を推進するため、引き続き出前講座の開催やごみ減量トレンドィ等広報誌の発行を行う。 本市のごみ減量に最も効果的な生ごみの減量に向け、引き続き「だっくす食ん太くんNEO」の販売や生ごみ処理容器の無償貸与事業を実施するとともに、小学生に対する食品ロス削減講座を実施する。 ごみの減量や資源化に関する周知啓発の強化のため、引き続き、ごみ減量アドバイザーの活動を支援するとともに、市とアドバイザーの協働でごみの減量や資源化に係る事業を実施する。 集積所からの一般廃棄物持ち去りの監視体制を強化するため、現在不法投棄監視業務委託の中で週1回実施している集積所の早朝監視を週3回に増やすとともに、必要に応じて職員による早朝監視を実施し、廃棄物の持ち去り防止に努める。 リサイクル率の向上を図るため、引き続き分別品目拡大について調査研究を行う。 引き続きフリーマーケット事業を実施するが、費用対効果を再度分析し、今後の事業の在り方について検討を行う。 駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加するとともに、広域処理の可能性のある市町に対し個別に情報収集を行い、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。 新規最終処分場建設の際に国から交付金を受けるために必要な循環型社会形成推進地域計画を策定する。
<p>【行革取組項目】 次年度の対応方針</p>	<p>【10 (仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】ごみの減量や資源化に関する周知啓発の強化のため、引き続き、ごみ減量アドバイザーの活動を支援するとともに、市とアドバイザーの協働でごみの減量や資源化に係る事業を実施する。</p> <p>【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加するとともに、広域処理の可能性のある市町に対し個別に情報収集を行い、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。</p> <p>【58 ごみ処理の有料化】次期一般廃棄物処理基本計画策定時に生活系ごみ袋への手数料の上乗せについて検討を行う。</p>

5 業務計画

事業名	手段・業務内容	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	H31			H32
1 一般廃棄物処理 基本計画の推進事 業 【行革取組番号10】 【行革取組番号55】 【行革取組番号58】	1 ごみ減量効果の把握 及び検証	把握・検証回数	目標	1回	1回	1回	1回	1回	維持	
			実績	3回	2回					
			達成状況	達成	達成					
	2 広報誌による啓発	広報掲載回数	目標	6回	6回	6回	6回	6回	維持	
			実績	8回	9回					
			達成状況	達成	達成					
	3 出前講座の開催	開催回数	目標	12回	12回	12回	12回	12回	拡大	ごみの減量や資源化の周知 啓発の強化のため、目標を 上方修正する。
			実績	30回	28回					
			達成状況	達成	達成					
	4 ダンボールコンポスト 「だっくす食ん太くん NEOの販売」	販売数	目標	100個	100個	100個	100個	100個	縮小	周知啓発活動は継続する が、近年の販売実績を踏ま え、下方修正する。
			実績	40個	19個					
達成状況			未達成	未達成						
5 ごみ減量アドバイザー 養成講座の実施	講座回数	目標	6回	-	-	-	-	終了	講座修了者20名に対し、アド バイザーの活動を委嘱した。	
		実績	6回							
		達成状況	達成							
6 ごみ減量アドバイザー と協働による事業実施	事業実施回数	目標	-	6回	6回	6回	6回	維持		
		実績		13回						
		達成状況		達成						
7 集積所からの資源古 紙等持ち去り禁止条 項制定に関する審議	審議回数	目標	2回	-	-	-	-	終了	廃棄物処理対策審議会での 審議が終了し、H28.11.15に 答申をいただいた。	
		実績	2回							
		達成状況	達成							
8 ごみ処理広域化の方 向性について調査研 究	調査研究回数	目標	1回	1回	1回	1回	1回	維持		
		実績	1回	1回						
		達成状況	達成	達成						
9 ごみ袋への処理手 数料の上乗せ検討回数	検討回数	目標	生活系自己搬入ごみ有料化 1回	1回	1回	1回	1回	維持	平成29年度は少量排出事業者 制度の改正を実施したため、ご み袋への処理手数料の上乗せに ついては、次期一般廃棄物処理 基本計画策定時に検討する。	
		実績	H28.4.1～施行	0回						
		達成状況	達成	未達成						
10 フリーマーケットの開 催	開催回数	目標	10回	10回	10回	10回	10回	維持	未達成の理由は、雨天中止 によるもの。	
		実績	8回	8回						
		達成状況	未達成	未達成						
11 フリーマーケットの開 催	出店数	目標	460店	460店	460店	460店	460店	維持	未達成の主な理由は、雨天 中止によるもの。	
		実績	406店	363店						
		達成状況	未達成	未達成						

事業名	手段・業務内容	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組			
			年度	H28	H29	H30	H31			H32		
2 生ごみ処理容器 無償貸与事業	1 コンポスト容器の無償 貸与	貸与件数	目標	30件	30件	30件	30件	30件	維持	広報誌等の周知方法を工夫 し改善を図る。		
			実績	31件	20件							
			達成状況	達成	未達成							
	2 ばかし専用容器の無償 貸与	貸与件数	貸与件数	目標	30件	30件	30件	30件	30件	維持	広報誌等の周知方法を工夫 し改善を図る。	
				実績	22件	10件						
				達成状況	未達成	未達成						
3 一般廃棄物資源 化事業	1 ミックス古紙の分別回 収	年間回収量	目標	350t	400t	400t	400t	400t	維持			
			実績	395t	417t							
			達成状況	達成	達成							
	2 小型家電の分別回収	年間回収量	年間回収量	目標	170t	170t	170t	170t	170t	縮小	ごみの減量実績を踏まえ、下 方修正する。	
				実績	115t	132t						
				達成状況	未達成	未達成						
	3 葉付き剪定枝の資源 化	資源化量	資源化量	目標	50t	3t	3t	3t	3t	維持		
				実績	2.77t	6.69t						
				達成状況	未達成	達成						
	4 廃プラスチック類等の 分別品目拡大の検討	容器包装リサイクル 法等、法改正の確認	容器包装リサイクル 法等、法改正の確認	目標	2回	2回	2回	2回	2回	維持		
				実績	2回	2回						
				達成状況	達成	達成						
	5 資源化中間処理業務	資源化量	資源化量	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持		
				実績	3164.19t	3167.43t						
				達成状況	達成	達成						

施策の方向	Ⅲ-5-31-(1)ごみの減量・資源化の推進
-------	------------------------

6 各事務事業に対する事業費

予算費目の事業名、補助金(細節)名	事業費										次年度の コスト方 向性	決算額増減の理由・改 善状況等	行政改革 大綱にお ける取組
	H28歳出(千円)		H29歳出(千円)		H30歳出(千円)		H31歳出(千円)		H32歳出(千円)				
	予算額	(うち一般財源)											
	決算額	(うち一般財源)											
1 一般廃棄物処理計画事業 (01.04.02.01.020.01) 【行革取組番号10】 【行革取組番号55】 【行革取組番号58】	1,732	(1,732)	5,530	(5,300)	8,198	(6,896)					増大	ごみ組成分析調査、ごみ減量及び分別等に関する市民意識調査等を実施したため、決算額が増額となった。	○
	1,650	(1,650)	5,203	(4,995)									
2 なし													
3 一般廃棄物資源化事業 (01.04.02.03.020.05)	16,640	(533)	19,826	(3,726)	17,873	(5,703)					削減	大きな不用額が生じた理由は、剪定枝資源化業務委託の単価が、委託業者との交渉により予算要求時から減額したためである。	
	15,146	(646)	17,260	(89)									

施策の方向	Ⅲ-5-31-(2)ごみの適正処理
-------	-------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	<ul style="list-style-type: none"> ・各種一般廃棄物収集運搬業務委託について、決定した今後の契約方法の在り方に基づき、委託金額の検証や複数年契約への移行方法を検討する。 ・粗大ごみ戸別収集事業について、引き続き事業を実施していくが、より多くの市民に利用されるよう周知を図る。 ・少量排出事業者制度の改正について、廃棄物処理対策審議会からの答申内容を踏まえ、平成30年4月1日からの施行に向け、事業者説明会や条例改正等の手続きを行う。 ・施設管理について、今後ごみ処理施設を維持管理していくが稼働年数が経過するとともに維持管理費が高騰するため引き続き修繕費の平準化に努める。 ・最終処分場については、焼却灰の外部搬出を継続しながら、平成28年度までに実施した各測量資料などを基に新規最終処分場候補地の選定作業を進める。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】 決定した今後の在り方に基づき、引き続き直営と委託の費用検証や行政コストを削減する業務内容について検討する。</p> <p>【57 少量排出事業者にかかる制度見直し】 廃棄物処理対策審議会からの答申内容を踏まえ、平成30年4月1日からの施行に向け、事業者説明会や条例改正等の手続きを行う。</p>

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種一般廃棄物収集運搬等業務委託について、他市の事例を調査して委託金額の妥当性や複数年契約の方法を検証する。 ・粗大ごみ戸別収集事業について、広報誌等の活用により事業の周知を図り、利用者の増大を図る。 ・少量排出事業者制度改正に係る事業者・自治会等・市民に対する説明会を開催し、条例改正等の手続きを行う。 ・施設管理について、今後ごみ処理施設を維持管理していくが稼働年数が経過するとともに維持管理費が高騰するため引き続き修繕費の平準化に努める。 ・最終処分場については、焼却灰の外部搬出を継続しながら、平成28年度までに実施した各測量資料などを基に新規最終処分場候補地の選定作業を進める。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】 決定した今後の在り方に基づき、直営と委託の費用検証や業務の分割・統合の可能性、業務内容の変更による費用の増減について検討する。</p> <p>【57 少量排出事業者にかかる制度見直し】 平成30年4月1日からの施行に向け、事業者・自治会等・市民に対する説明会の開催、条例改正等の手続きを行う。</p>

3 実施内容に対する評価 (Check)

<p>実施(改善)計画に対する今年度の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種一般廃棄物収集運搬等業務委託について、債務負担行為または長期継続契約による複数年契約とすることになったが、いずれの方法にするかは今後契約担当課と協議していくことになった。 ・粗大ごみ戸別収集事業について、ごみ減量トレンドへの記事掲載などで周知を図ったことにより、利用者が増加した。(申込者数 H28:1,124件、H29:1,414件) ・少量排出事業者制度の改正について、事業者や自治会等への説明会により周知を図り、平成29年市議会11月定例会で制度改正にかかる条例案が議決された。改正後の制度の施行日は、届出方法の変更が平成30年4月1日、事業者用指定ごみ袋の使用が10月1日である。 ・施設管理について、基幹的設備整備工事内で一部修繕をしたが、それが終了し修繕費で行わなければならなくなったこと、及び人手不足による人件費等の高騰などの関係で修繕費等が上昇した。しかしながら、処理施設の機能停止は許されないため予防保全を考慮し、一部機器について前倒して整備や修繕を行った。 ・最終処分場については、大よそ2500tの焼却灰を外部搬出し、現在使用している第3処分場の延命化を行った。しかしながら、第3処分場の残余容量は10%程度となっている。
<p>【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価</p>	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】 平成32年度から臨時職員の雇用形態が変更になり、賃金も上昇すると見込まれるが、上昇額が不明であるため費用検証ができず、それに関連して業務内容の検討も難しいため、検討を一時休止した。</p> <p>【57 少量排出事業者にかかる制度見直し】 少量排出事業者制度の改正について、事業者や自治会等への説明会により周知を図り、平成29年市議会11月定例会で制度改正にかかる条例案が議決された。改正後の制度の施行日は、届出方法の変更が平成30年4月1日、事業者用指定ごみ袋の使用が10月1日である。</p>

4 評価結果に対する改善内容 (Action)

<p>次年度の事業のあり方(改善措置)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種一般廃棄物収集運搬等業務委託について、契約担当課と協議して、適切な複数年契約の方法を検討していく。また、他市における同種業務の委託金額を調査し、契約額の妥当性を検証していく。 ・粗大ごみ戸別収集事業について、利用者の更なる増加を図るため、引き続き広報誌等の活用により市民への周知を行っていく。 ・新たな少量排出事業者制度について、4月1日から変更後の届出受付を開始し、10月1日から事業者用指定ごみ袋を導入する。事業者用指定ごみ袋については市内小売店等と一般廃棄物処理手数料収納事務委託契約締結に向け、規則の改正や小売店等との協議など必要な手続きを行う。また、制度の定着に向け周知活動に努める。 ・施設管理については、本年度と同様、処理施設の突然の機能停止を発生させないために、予防保全を前提として一部機器について前倒して整備や修繕を行う。また財政面とのバランスを保ちながら工事の平準化にも努力する。 ・最終処分場については、第3処分場の延命化を考慮し本年度と同程度の焼却灰の外部搬出を行い、それと並行して喫緊の課題である新規最終処分場の建設を推進するため、「(仮称)三島市新規最終処分場候補地選定委員会」を立上げ将来の新規最終処分場建設に繋げる。
<p>【行革取組項目】 次年度の対応方針</p>	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】 平成32年度からの臨時職員の雇用形態変更に関する情報に注視し、賃金上昇を見込んだ上で委託と直営の費用検証や業務内容の変更等を検討していく。</p> <p>【57 少量排出事業者にかかる制度見直し】 平成29年度に制度を改正したため、行政改革大綱における本取組みは終了する。</p>

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	H31			H32
1 一般廃棄物収集 運搬業務委託事業	1 一般廃棄物収集運搬 業務委託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,757	1,763					
			達成状況	達成	達成					
	2 一般廃棄物収集運搬 業務委託	一般廃棄物収集量	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	24,236t	23,257t					
			達成状況	達成	達成					
	3 資源古紙回収業務委 託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,463	1,338					
			達成状況	達成	達成					
	4 資源古紙回収業務委 託	資源古紙収集量	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,118t	1,016t					
			達成状況	達成	達成					
	5 ペット容器配布・回収 及び収集運搬業務委 託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	488	492					
			達成状況	達成	達成					
	6 ペット容器配布・回収 及び収集運搬業務委 託	ペットボトル・白色トレ イ等収集量	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	65t	64t					
			達成状況	達成	達成					
	7 一般廃棄物収集容器 配布業務委託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,458	1,470					
			達成状況	達成	達成					
	8 一般廃棄物収集容器 配布業務委託	収集容器配布数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	219,622個	218,917個					
			達成状況	達成	達成					

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	H31			H32
2 一般廃棄物収集 運搬等業務の全面 委託化事業 【行革取組番号49】	1	直営による一般廃棄物収集業務の委託化 業務数	目標	—	—	—	業務数1減	業務数2減	維持	○
			実績							
			達成状況							
3 ごみ処理サービ ス提供事業	1	ふれあいさわやか回収 事業	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	125世帯	164世帯					
			達成状況	達成	達成					
	2	粗大ごみ戸別収集事 業	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,095人	1,404人					
			達成状況	達成	達成					
4 少量排出事業者 制度見直し事業 【行革取組番号57】	1	制度見直しに係る審議 (H29以降は検討回 数)	目標	3回	1回	1回	1回	1回	改善	平成29年度に制度を改正し たため、行革の取組事項とし ては終了するが、新たに業務 内容と活動指標を設定する。
			実績	3回	制度改正					
			達成状況	達成	達成					
5 処理施設整備事 業	1	粗大ごみ処理施設基 幹的設備整備工事	目標	平成29年3月	-	-	-	-	終了	平成28年度で「粗大ごみ処理 施設基幹的設備整備工事」 が終了したため。
			実績	平成29年3月						
			達成状況	達成						
	2	新規最終処分場候補 用地調査	目標	1箇所	-	-	-	-	終了	平成28年度で「最終処分場候 補用地調査業務委託」が終 了したため。
			実績	1箇所						
			達成状況	達成						
6 施設管理業務委 託事業	1	ごみ焼却処理施設の 運転管理	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	360日	358日					
			達成状況	達成	達成					
7 施設補修事業	1	ごみ処理施設の補修	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	360日	360日					
			達成状況	達成	達成					
8 ダイオキシン対 策事業	1	排ガスのダイオキシン 類調査	目標	30回	30回	30回	30回	30回	維持	
			実績	30回	30回					
			達成状況	達成	達成					
	2	排ガス・浸出水等のダ イオキシン類調査	目標	26箇所	26箇所	26箇所	26箇所	26箇所	維持	
			実績	26箇所	26箇所					
			達成状況	達成	達成					
9 災害廃棄物処理 計画策定事業	1	災害廃棄物処理計画 の策定	目標	平成29年3月	-	-	-	-	終了	平成29年3月に策定が完了し たため。
			実績	平成29年3月						
			達成状況	達成						

施策の方向	Ⅲ-5-31-(3)環境衛生の向上
-------	-------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の環境問題への意識の高揚を図るため引き続き各種イベントを実施していくが、より多くの市民に参加してもらえるような周知啓発の方法を検討する。 ・清潔で快適な住みよい生活環境を維持するため、引き続き防疫活動を実施していくほか、自治会などが実施する環境美化活動や防疫活動に対する支援を行う。 ・不法投棄は減少傾向にあると考えられるが、巡回監視活動を継続し、警察等との連携により不法投棄の防止を図る。 ・地域における環境美化推進のリーダーである環境美化推進員が円滑に活動できるよう引き続き支援を行うとともに、各種研修の実施により推進員の資質の向上を図っていく。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の環境問題への意識の高揚を図るため、三島の川をきれいにする奉仕活動、統一美化キャンペーン、環境美化推進大会、環境衛生週間ポスター・標語展を開催する。 ・より多くの市民に各種イベントに参加してもらえるよう、広報等で関心を引くような掲載方法を検討する。 ・定期的にユスリ蚊等の駆除を実施するほか、市民から相談により随時駆除を実施する。 ・自治会が実施する町内清掃や防疫活動の支援を行う。 ・不法投棄防止対策として、不法投棄監視員による定例巡回監視を行う。 ・不法投棄監視及び廃棄物回収分別業務委託により、不法投棄の巡回監視と不法投棄物の適正処理を行う。 ・環境美化推進員活動補助事業により、推進員の円滑な活動を支援する。 ・環境美化推進員の資質の向上を図るため、施設研修や先進地視察研修などを行う。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価 (Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	<ul style="list-style-type: none">・三島の川をきれいにする奉仕活動、統一美化キャンペーン、環境美化推進大会、環境衛生週間ポスター・標語展を開催し、市民の環境問題に対する意識の高揚を図った。・各種イベントの開催について、市長定例記者会見、広報みしま、市ホームページで周知を図ったが、全体として参加者数等が減少した。・ユスリ蚊等を駆除するため、定期的に薬剤散布を実施した。・自治会が実施する町内清掃の際に、汚泥等運搬用車両の手配や防疫用薬剤の配布を行った。・不法投棄監視員による定例巡回監視を実施し、不法投棄の防止及び不法投棄物の回収を行った。・不法投棄監視及び廃棄物回収分別業務委託を実施し、不法投棄の巡回監視と不法投棄物の適正処理を行った。・環境美化推進員活動補助事業を実施し、環境美化推進員の円滑な活動を支援した。・環境美化推進員に対して施設研修や視察研修を実施し、環境美化推進員の資質の向上を図った。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容 (Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	<ul style="list-style-type: none">・市民の環境問題に対する意識の高揚を図るため、引き続き各種イベントを開催していくが、より多くの市民に参加してもらえるような周知啓発の方法を検討する。・清潔で快適な住みよい生活環境を維持するため、引き続き防疫活動を実施していくほか、自治会などが実施する環境美化活動や防疫活動に対する支援を行う。・不法投棄の減少を図るため、引き続き不法投棄監視員及び業務委託による巡回監視活動を実施するほか、警察との連携により不法投棄の防止を図る。・地域における環境美化推進のリーダーである環境美化推進員が円滑に活動できるよう引き続き支援を行うとともに、各種研修を実施して環境美化推進員の資質の向上を図る。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	H31			H32
1 環境衛生推進事業	1 三島の川をきれいにす る奉仕活動	参加者数	目標	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	維持	
			実績	2,000人	2,000人					
			達成状況	達成	達成					
	2 統一美化キャンペーン	参加者数	目標	350人	350人	350人	350人	350人	維持	同日に他の清掃イベントに参加した団体があったため未達成となった。
			実績	374人	335人					
			達成状況	達成	未達成					
	3 環境美化推進大会	参加者数	目標	300人	300人	300人	300人	300人	維持	同時期に環境美化推進員の研修会を開催したため、環境美化推進員の参加が少なく未達成となった。
			実績	301人	228人					
			達成状況	達成	未達成					
	4 環境衛生週間ポスター・標語展	応募点数	目標	1,500点	1,500点	1,500点	1,500点	1,500点	維持	
			実績	1,884点	1,824点					
			達成状況	達成	達成					
	5 ユスリ蚊等駆除	薬剤散布件数	目標	200件	200件	200件	200件	200件	維持	ユスリ蚊の大量発生件数が少なかったため未達成となった。
			実績	218件	182件					
			達成状況	達成	未達成					
2 不法投棄対策事業	1 不法投棄監視員定例巡回監視	巡回実施回数	目標	9回	9回	9回	9回	9回	維持	
			実績	9回	9回					
			達成状況	達成	達成					
	2 不法投棄監視及び廃棄物回収分別業務委託	業務実施日数	目標	240日	240日	240日	240日	240日	維持	
			実績	240日	240日					
			達成状況	達成	達成					
3 環境美化推進員活動補助事業	1 環境美化推進員活動費補助金交付	交付団体数	目標	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体	維持	
			実績	1団体	1団体					
			達成状況	達成	達成					
	2 環境美化推進員活動費補助金交付	交付金額	目標	1,925千円	1,925千円	1,925千円	1,925千円	1,925千円	維持	
			実績	1,925千円	1,925千円					
			達成状況	達成	達成					

施策の方向	Ⅲ-5-31-(3)環境衛生の向上
-------	-------------------

6 各事務事業に対する事業費

予算費目の事業名、補助金(細節)名	事業費										次年度の コスト方 向性	決算額増減の理由・改 善状況等	行政改革 大綱にお ける取組
	H28歳出(千円)		H29歳出(千円)		H30歳出(千円)		H31歳出(千円)		H32歳出(千円)				
	予算額	(うち一般財源)											
	決算額	(うち一般財源)											
1 環境衛生推進事業(01.04.01.07.010.01)	1,015	(1,015)	884	(884)	966	(966)					維持		
	832	(832)	781	(781)									
2 環境衛生推進事業(01.04.01.07.010.01)	928	(928)	760	(760)	739	(739)					維持		
	680	(680)	670	(670)									
2 一般廃棄物収集運搬業務委託事業 (01.04.02.02.020.01)	7,500	(7,500)	6,400	(6,400)	6,200	(6,200)					維持	公開見積合せの結果に より減額となった	
	6,037	(6,037)	4,990	(4,990)									
3 環境美化推進員活動費補助金 (01.04.01.07.010.88.19.51)	1,925	(1,925)	1,925	(1,925)	1,925	(1,925)					維持		
	1,925	(1,925)	1,925	(1,925)									

平成29年度 スケジュール表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	19人	電話番号 (内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数	
													正職員	その他職員
一般廃棄物収集運搬業務委託事業	委託業者による一般廃棄物分別収集等の実施												300H	0H
一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化事業 【行革取組番号49】	直営と委託の費用検証、業務の分割・統合及び費用増減の検討												300H	0H
ごみ処理サービス提供事業	ふれあいさわやか回収事業の実施												240H	5060H
	粗大ごみ戸別収集事業の実施													
少量排出事業者制度見直し事業 【行革取組番号57】	市の方針決定	議員説明	制度改正前説明会				例規委員会 条例改正案	改正内容・手続き方法説明会 事業系ごみ袋販売店協議					1000H	0H
処理施設整備事業	新規最終処分場候補地調査のまとめ及び選定に関する庶務												1868H	0H
施設管理業務委託事業	焼却施設運転管理業務・施設設備等保守業務・警備保障業務・水質検査業務・大気測定業務・最終処分場残余容量測量業務・粗大ごみ受入業務・可燃性処理困難物解体業務・焼却灰等外部搬出業務・集じん灰溶出試験業務の委託発注及び履行												3736H	16812H
施設補修事業	焼却処理施設前期修繕						焼却処理施設後期修繕						1868H	0H
	粗大ごみ処理施設前期修繕						粗大ごみ処理施設後期修繕							

平成29年度 スケジュール表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	19人	電話番号 (内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数		
													正職員	その他職員	
ダイオキシン対策事業	ごみ焼却処理施設ダイオキシン類測定業務の委託発注及び履行												1868H	0H	
環境衛生推進事業	準備	三島の川をきれいにする奉仕活動(14日)												400H	260H
	準備	統一美化キャンペーン(27日)												200H	100H
	準備		環境美化推進大会(2日)											400H	160H
				環境衛生週間ポスター・標語の募集依頼		ポスター・標語優秀作品の展示	ポスター・標語優秀作品の表彰式							200H	60H
						ユスリ蚊防除薬剤散布								30H	1200H
不法投棄対策事業	不法投棄監視員定例巡回監視(毎月第3水曜日)												150H	30H	
	委託業者による不法投棄監視及び廃棄物回収分別業務の実施														
環境美化推進員活動補助事業		統一美化キャンペーンへの参加・環境美化推進員会理事会開催・施設研修実施	環境美化推進大会への参加 補助金交付				静岡県環境衛生大会への参加					先進地視察研修実施	300H	0H	
その他施設係業務	その他施設係内業務												1868H	1868H	

平成29年度 スケジュール表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	19人	電話番号 (内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数	
													正職員	その他職員
その他業務係 業務(課長含 む)	← 其他業務係内業務 →												3240H	0H
その他収集係 業務	← 其他収集係内業務 →												1216H	9942H